

ちよだく 千代田区 2025 生きもののさがし

2025年の春と夏のあいだ、千代田区に生息・生育する動植物の写真をスマートフォンアプリ「Biome (バイオーム)」に投稿してもらうことで、千代田区の生きものの発見情報を集めました。



春の調査

2025年 4月20日～5月31日

はっけん
発見した数
3,145 件

はっけん
発見した種類
955 種類

さんか
参加した人数
292 人



夏の調査

2025年 7月20日～8月31日

はっけん
発見した数
2,894 件

はっけん
発見した種類
725 種類

さんか
参加した人数
424 人

※上記の数値は調査期間内にアプリ「Biome (バイオーム)」に千代田区から寄せられた全投稿、千代田区に寄せられたはがきでの報告、千代田区主催の自然観察イベント（一部上記調査期間外含む）での報告を集計したものです

※種名が分からなかった投稿（質問投稿）および、はがきと自然観察イベントでの報告のうちアプリ「Biome (バイオーム)」のデータベースと生物種名が照合できなかったものは、種類の集計に含まれていません

調査で見つけた注目の生きもの

ウチワヤンマ

トンボ目サナエトンボ科



おしり(腹部)にある大きなうわのような形が特徴のトンボです。広い池や湖を好み、幼虫は水の深い場所にいます。

スズメ

スズメ目スズメ科



たてものやねしんこうきすきま建物の屋根や信号機の間隙に巣を作る身近な鳥です。夏から秋にかけて、若い鳥が大群になることもあります。

アオダイショウ

ゆうりん 有鱗目ナミヘビ科



田んぼや畑、町なかにもいて、木の登りや泳ぎが得意です。カエルやネズミなどを捕まえて食べます。

ヤマボウシ

ミズギ目ミズギ科



白く大きな花びらのように見える部分は、実は葉が変化したものです。初夏には真ん中に小さな花がたくさん咲きます。

生きもの発見ランキング

発見者数が多かった生きもののランキングです。春は植物、夏は昆虫が上位でした。春の調査で多くの投稿が寄せられた外来生物はほかの生きものとすみかを奪いあってしまうなど、自然や人の暮らしに影響を与える恐れがあります。

春の調査ランキング

1



ハルジオン

キク目キク科

4～6月にかけて白や淡いピンク色の花を咲かせます。北アメリカ原産の外来種で、公園や道ばたなど国内のほぼ全国で見られます。

2



ムラサキカタバミ

カタバミ目カタバミ科

赤紫色の花を5～7月にかけて咲かせるカタバミの仲間です。種を作ることは無く、地中の鱗茎(りんけい)という器官から繁殖します。

3



ドバト

ハト目ハト科

街のあらゆる場所で見られます。植物の種子を主食としています。人に飼育されたものが逃げ出して野生化しました。

夏の調査ランキング

1



アブラゼミ

カメシ目セミ科

赤褐色の翅が特徴です。日本の都市部では最も身近なセミの一種ですが、世界的に見ると翅の全体に色が付いたセミは少数派です。

2



ミンミンゼミ

カメシ目セミ科

「ミンミンミンミンミン」という鳴き声は、夏の風物詩です。セミの仲間は総じて、鳴くのはオスのみです。

3



シオカラトンボ

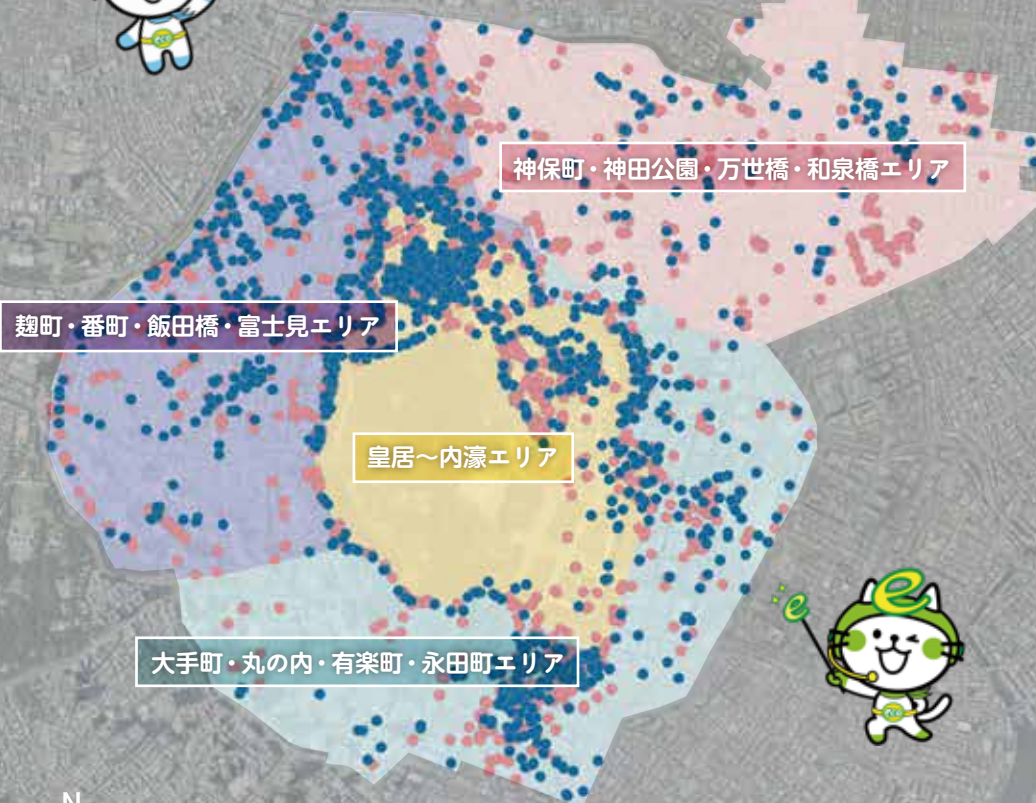
トンボ目トンボ科

公園やプールなど日本の各地で見られ、ほかの昆虫などを捕えて食べます。成熟したオスは体に塩のような白い粉をふきます。

生きものの発見マップ

2025

- 春の調査
- 夏の調査



神保町・神田公園・万世橋・和泉橋エリア

皇居～内濠エリア

麹町・番町・飯田橋・富士見エリア

大手町・丸の内・有楽町・永田町エリア



※地図上の点は調査期間内に千代田区内からアプリ「Biome」に寄せられた
全投稿の各登録地点を示します
※はがきおよび自然観察イベントでの報告は地図には含まれていません

皇居～内濠エリア

皇居東御苑や北の丸公園は、常緑樹や里山の木々が広がり、都心では希少な動植物が暮らす「自然の拠点」です。このエリアを中心に周辺へ生態系が広がり、自然観察の場としても親しまれています。皇居前広場の美しいクロマツや白鳥も見どころ。歴史ある遺構と、豊かな自然が調和した貴重なエリアです。



発見した数

1,866 件

参加した人数

171 人

麹町・番町・飯田橋・富士見エリア

閑静な住宅街に緑が広がるこの地域は、外濠公園や靖国神社などの大きな森と街の緑が結びつき、生きものたちが行き交う「自然のネットワーク」を作っています。千鳥ヶ淵や清水谷公園などの水辺環境も豊かで、美しい街並と、身近な自然観察や四季の移ろいを楽しめるエリアです。



発見した数

1,675 件

参加した人数

186 人

神保町・神田公園・万世橋・和泉橋エリア

古書店街や電気街、学校が集まるこの地域は、皇居と上野の森をつなぐ生態系の通り道になっています。地域の連携により公園や緑地の結びつきが強まり、街中には生きものたちの拠点が点在します。文化的な賑わいの中で、都市に息づく自然や、広がる緑のネットワークを観察できるエリアです。



発見した数

386 件

参加した人数

107 人

大手町・丸の内・有楽町・永田町エリア

官公庁や大手企業が集まるこの街は、ビルの緑地が皇居や日枝神社などの森をつなぎ、生きものたちが行き交う「自然のネットワーク」を形成しています。都会のオアシス・日比谷公園は、水鳥やカエルなどが暮らす水辺も豊富に残されています。日本の中心にありながら、多様な自然や生きものに出会えるエリアです。



発見した数

926 件

参加した人数

161 人